

地 域

長岡京市里山再生市民フォーラムが活動している京都府長岡京市は、京都盆地の西南部に位置し、総面積19.18km²、人口約8万人のまちです。市の西域に位置する「西山」は、北は愛宕山・嵐山からポンポン山を経て、南の天王山に至る京都盆地を囲む西山連山の一部で、市総面積の約4割を占め、長岡京市域を含め、早くから桂川右岸の穀倉地帯の后背森林として重要な役割を担ってきました。以前の西山は、良質なヒノキや松茸が取れ、多くの動植物が生息する豊かな山でしたが、社会情勢や生活様式の変化などにより放置された森林が増加し、多様な機能が失われつつありました。

経 緯

四季折々の豊かな西山の里山再生を目指し、平成15年に会を発足。長岡京市^{あくかいんじ}奥海印寺地区の西山キャンプ場周辺を主な活動地として、自然調査や森林・竹林整備活動、遊歩道の整備等を継続的に実施しています。さらに、森林の楽しさや里山保全の重要性を広く市民に伝えるため、自然工作教室や里山講演会を毎年開催し、小学生の里山体験支援も行っています。マツタケ林の整備やササユリの養殖活動など夢のある活動にも取り組んでいます。また、近年は、間伐材の利活用にも力を入れ、学術機関等と連携しながら、薪販売などにも力を入れています。これらの活動を進める上では、関心のある市民の参画や関係団体との協働を基本方針とし、これまでの10年間の活動で活動日数は1,803日、参加人数は延べ21,133人となっています。

功績内容

- ・長年にわたる森林整備活動により、活動拠点であるキャンプ場周辺の森には光が差し込み、水源涵養能力が高く生物多様性の保たれた森へと再生され、地域住民や子どもが集う場となっています。
- ・子どもへの環境教育や 工作教室などの啓発事業を通じて、多くの人々が里山保全への関心を高め、参画する取り組みを積極的・継続的に展開してこられました。



整備後のヒノキ・マツ林



遊歩道に啓発看板を設置



市民対象の里山工作教室



小学生の里山体験支援